



平成 27 年 3 月 12 日

各 位

上場会社名 株式会社ファーストエスコ  
代表者名 代表取締役社長 島崎 知格  
(コード番号：9514 東証マザーズ)  
問合せ先 常務取締役 小池 久士  
(TEL.03-5299-8521)

### 栃木県鹿沼市 木質バイオマス発電事業について

当社では、本日開催の取締役会にて、栃木県鹿沼市で、新たに木質バイオマス発電事業を推進することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 本件事業推進の経緯

当社グループでは、平成 18 年より大分県日田市において「日田ウッドパワー」発電所、福島県白河市において「白河ウッドパワー」発電所を稼働運営してまいりました。また大分県豊後大野市において平成 28 年稼働予定の「大分第2木質バイオマス発電所(仮)」を建設中です。

この度の事業計画は、現在建設中の「大分第2木質バイオマス発電所(仮)」と同等規模の木質バイオマス専焼発電所を栃木県鹿沼市に開発するもので、既設の「白河ウッドパワー」発電所と補完関係を構築することを目指したものです。開発に際しては、栃木県を中心とした北関東周辺地域において、林業従事者を始めとする森林系燃料供給者や、製材系燃料供給者の方々と協議をし、木質バイオマス発電に必要な燃料確保が充分に見込まれることを確認しております。また、今年2月に、事業主体である「アールイー鹿沼株式会社」が、経済産業省より再生可能エネルギー固定価格買取制度の設備認定を受けたことを受けて、事業開発に着手することを決定いたしました。

#### 2. 事業の目的

現在わが国では、原発事故以後の新しいエネルギーミックスを模索している最中です。当初、再生可能エネルギーには、次世代のエネルギーとして多大な期待が掛けられ、制度の後押しもあって強く普及促進がなされました。しかし昨今では、太陽光発電設備への偏った開発意欲の結果、電力受益者への急速な負担増加への懸念や、送電インフラの再エネ電源への対応の必要性などから、FIT の制度面、運用面での変更が検討されている状況です。

こうした状況の下、当社グループでは新規の発電設備の開発には慎重に取り組んでまいりましたが、

木質バイオマス発電には木質バイオマス固有の意義が有るものと考え、この度の決定に至りました。まず、出力が極めて安定した通告電源であり、運用としてはベースロード電源であること。次に、木質燃料の購入・消費を通じて、林業・製材事業者、廃棄物業者、運送業者など、多岐にわたる産業振興効果があること。加えて、事業の継続を通じて地域経済に雇用や産業振興機会を創出する効果が期待されます。また当然ですが、再エネとして、純国産のCO2フリーの電気を供給するという本来の意義を備えた事業です。

以上のような意義、目的を実現するために、当社グループではこの度の発電設備の開発に際しまして、白河、日田の既設設備に加え、建設中の大分第2の経験を踏まえ、更に木質燃料に適した運用効率の高い設備を完成させる事を目的として当事業を推進してまいります。

また、当該発電事業の推進に伴い固定資産の取得等、重要な事項が決定された場合は速やかにお知らせいたします。

### 3. 事業及び設備の概要

#### 【事業会社の概要】

会社名	アールイー鹿沼株式会社
所在地	東京都中央区八重洲2丁目7番12号
代表者	代表取締役 森 広器
資本金	100万円
資本構成	株式会社ファーストエスコ 100%
設立年月日	平成24年6月
事業内容	木質バイオマスによる発電及び電力卸売事業

#### 【木質バイオマス発電設備概要】

設備名称	鹿沼木質バイオマス発電所
立地場所	宇都宮西中核工業団地(栃木県鹿沼市深程)
敷地面積	約50,000㎡程度
ボイラー蒸発量	約75ton/時
定格出力	18,000kW
年間稼働日数	330日/年(24時間稼働)
年間発電量	約120,000MWh/年(送電端)
総投資額	約80億円

### 4. 今後の見通し

発電所建設の開始時期は平成28年夏を目途に計画を進めております。また発電所の竣工、及び事業の開始時期につきましては平成30年春を予定しております。なお、本件決定に伴う当連結会計年度の当社グループ業績見通しに与える影響は軽微であります。

以上